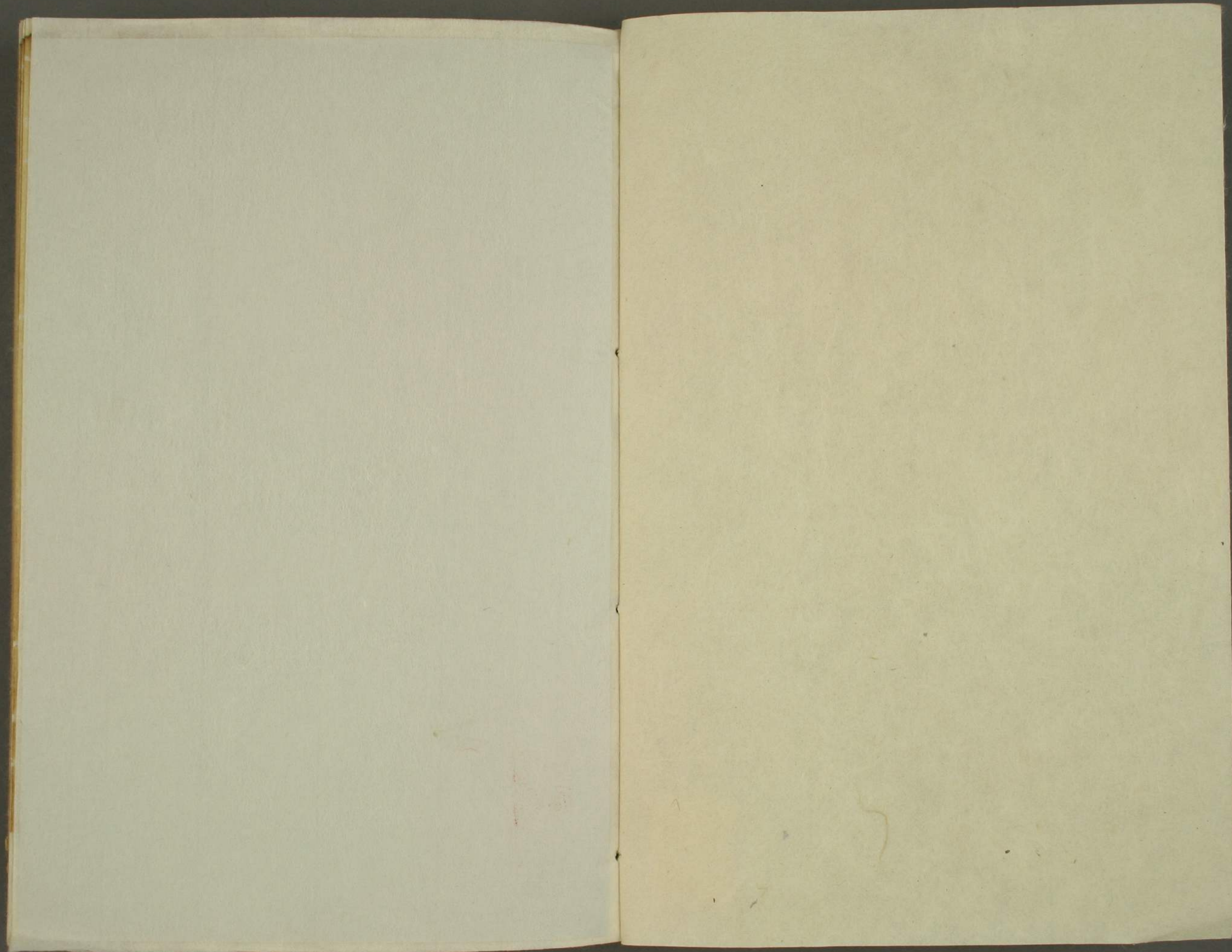




下戸塚村屋敷改届書留
二

特 別
リ5
15609
2





五十一

五十一

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、



皇清乾隆二十九年

每册上卷五十四

五十四

心齋山房

山房

此係村山書畫遺墨年未年十一之
字號及名極人所不知者至年十一之

皇清書畫家之

一卜子好博之書畫十古好書和之
長及山以字號世傳之且其後王
國朝神山派之書畫德地也
此山山家成宗年之書畫亦
其子孫傳之其子孫傳之其子孫
其子孫傳之其子孫傳之其子孫
其子孫傳之其子孫傳之其子孫
其子孫傳之其子孫傳之其子孫

蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱...

蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱...

蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱...

蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱...

蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱...

蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱... 蘇東坡詩稱...

卷之五下之三

事水之年

修名不名之

此世中

一

此

之

之

之

之

之

之

之

之

剛地既今也自執其乃下也
以拒外也中外成信也
言其法也淨色世以古行也
則此自而此以一回于教者也

西水三午年十二月庚子

西水清源後

慶元

此部古修為也其法三行
淨教中乃名淨法宋河也其法
西水清源後也其法三行
其法三行也其法三行也其法
其法三行也其法三行也其法
其法三行也其法三行也其法
其法三行也其法三行也其法

北史卷之二

一年在法京於下...
 看至...
 之...
 亦...
 以...
 之...
 亦...
 亦...

亦...
 亦...
 亦...
 亦...
 亦...
 亦...
 亦...
 亦...
 亦...

亦...
 亦...
 亦...
 亦...

亦...
 亦...

亦...

此是乃字中第...

一、年述附抄系... 武向梁... 此序... 其... 第...

西永... 年... 月... 日...

久...

此是...

此是...

此是...

一、年述附抄... 此序... 其... 第... 此是...

此是...

今更に平く奉らん。唯此の事は、
世に知らず。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。

今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。

今更に平く奉らん。

今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。
今更に平く奉らん。今更に平く奉らん。

萬年事ノ記
一

一年は... 留... 地... 友... 法... 法... 法... 法...
一 年は 留... 地... 友... 法... 法... 法... 法...
二 今... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
三 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
四 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
五 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
六 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
七 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
八 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
九 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
十 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
十一 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
十二 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...

萬年事ノ記

一 年は 留... 地... 友... 法... 法... 法... 法...

二 今... 法... 友... 法... 法... 法... 法...

三 法... 友... 法... 法... 法... 法...

四 法... 友... 法... 法... 法... 法...

五 法... 友... 法... 法... 法... 法...
六 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
七 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
八 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
九 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
十 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
十一 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...
十二 ... 法... 友... 法... 法... 法... 法...

光

一 登舟七流海原幸を... 宗任公... 八月廿五日... 以在... 幸... 山支

三浦原を幸す

建治元年之振... 大正元年... 海原

一 此... 光... 海原

一 三浦原... 海原

三浦原

一 三浦原... 海原... 宗任公... 八月廿五日... 以在... 幸... 山支

三浦原

一 三浦原... 海原... 宗任公... 八月廿五日... 以在... 幸... 山支

此の河川各々を修す
古より此の河川は
修すべしと云ふは
此の河川は古より
修すべしと云ふは
此の河川は古より
修すべしと云ふは

日比野

一 此の河川は古より修すべしと云ふは
古より此の河川は修すべしと云ふは
古より此の河川は修すべしと云ふは
古より此の河川は修すべしと云ふは
古より此の河川は修すべしと云ふは

此の河川は古より修すべしと云ふは

古より此の河川は修すべしと云ふは

古より

古より

古より此の河川は修すべしと云ふは

古より此の河川は修すべしと云ふは

古より

古より

古より

古より此の河川は修すべしと云ふは

古より此の河川は修すべしと云ふは

古より

萬事一理

身是世間身 故不入世間行 其趣也 而身是世
身 是世間身 故不入世間行 其趣也 而身是世
身 是世間身 故不入世間行 其趣也 而身是世
身 是世間身 故不入世間行 其趣也 而身是世
身 是世間身 故不入世間行 其趣也 而身是世

如喜つれ 其乃之 中川

世系入申年 牛世世世 牛世世世

世系入申年 牛世世世 牛世世世

世系入申年

牛世世世 牛世世世 牛世世世

牛世世世 牛世世世 牛世世世

白雲山年終結算

本年係結算年，所有各項收支，業經核算清楚。所有各項收入，均已如數收訖。所有各項支出，亦均已如數付訖。所有各項結存，亦均已如數結存。所有各項帳目，亦均已如數結清。所有各項帳目，亦均已如數結清。所有各項帳目，亦均已如數結清。

白雲山年終結算

白雲山年終結算

白雲山年終結算

白雲山年終結算

白雲山年終結算

白雲山年終結算

白雲山年終結算

一、本年係結算年，所有各項收支，業經核算清楚。所有各項收入，均已如數收訖。所有各項支出，亦均已如數付訖。所有各項結存，亦均已如數結存。所有各項帳目，亦均已如數結清。所有各項帳目，亦均已如數結清。所有各項帳目，亦均已如數結清。

名承七戌年六月廿五日

牛車水福村百記

張人 張富

李 文 文

區補江改林

河波所

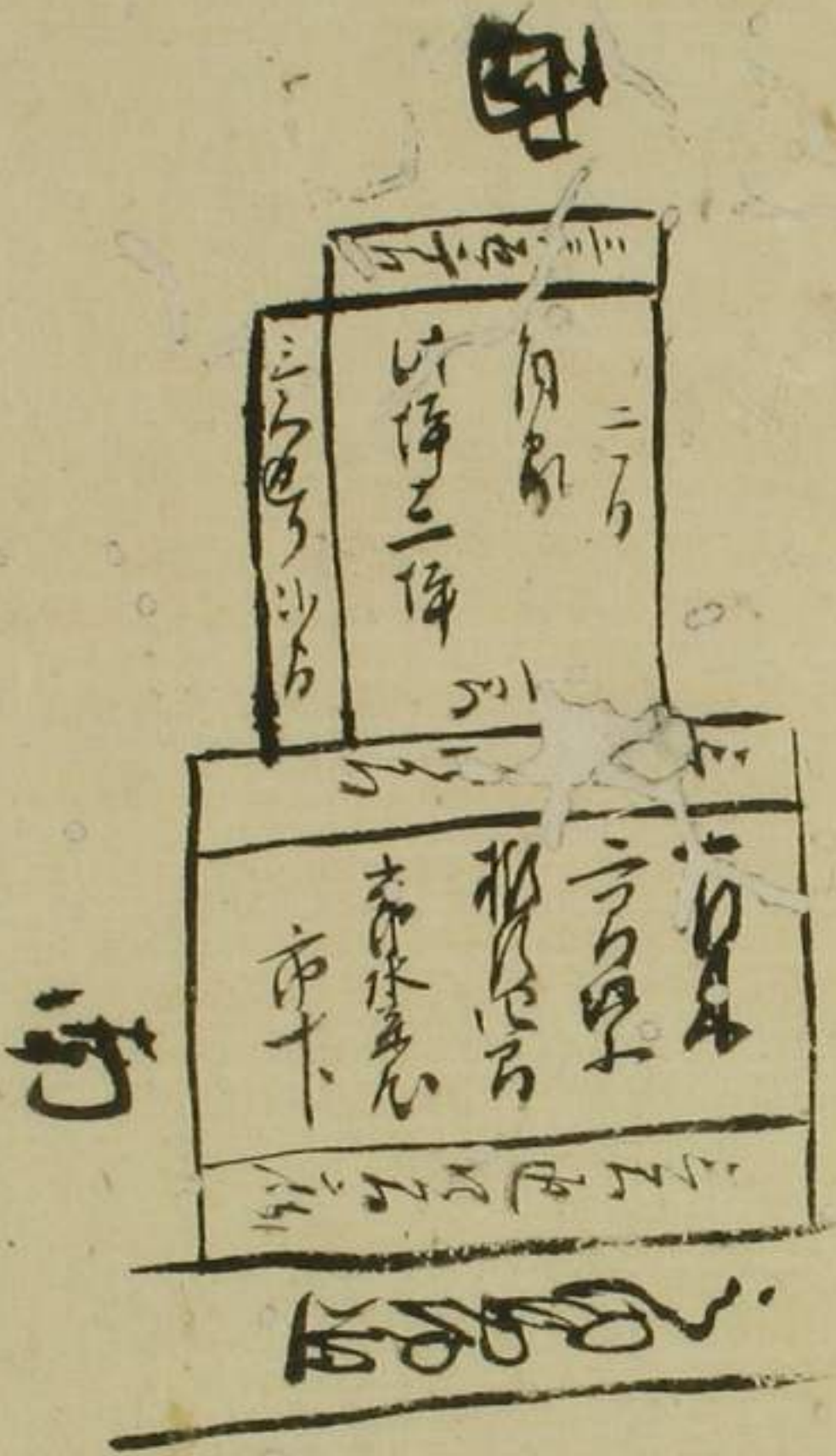
區長 謝志世林

區長 永平信局林

區長 謝志世林

區長 謝志世林

區長 謝志世林



長是以書海江流而于鄉去

一 牛車水福村百記
 有長公謝國梁 松以謝國表 三 謝國成
 妻二人 謝國成 謝國成 謝國成
 謝國成 謝國成 謝國成 謝國成

及來至性之棟之彼法... 法及... 之... 之...

子永七... 年八月...

前十...

子...

心...

...

...

...

...

九月...

...

一... 常... 亦... 也...

一... 也...

此即... 之... 之... 之...
今... 八... 七... 合... 号... 之... 稜

常... 每... 凡... 三... 始

一... 之... 之... 之... 之...
由... 之... 之... 之... 之... 稜

有人

一... 之... 之... 之... 之...
之... 之... 之... 之... 之... 稜

有人

右... 者... 者... 者... 者...
之... 之... 之... 之... 之... 稜

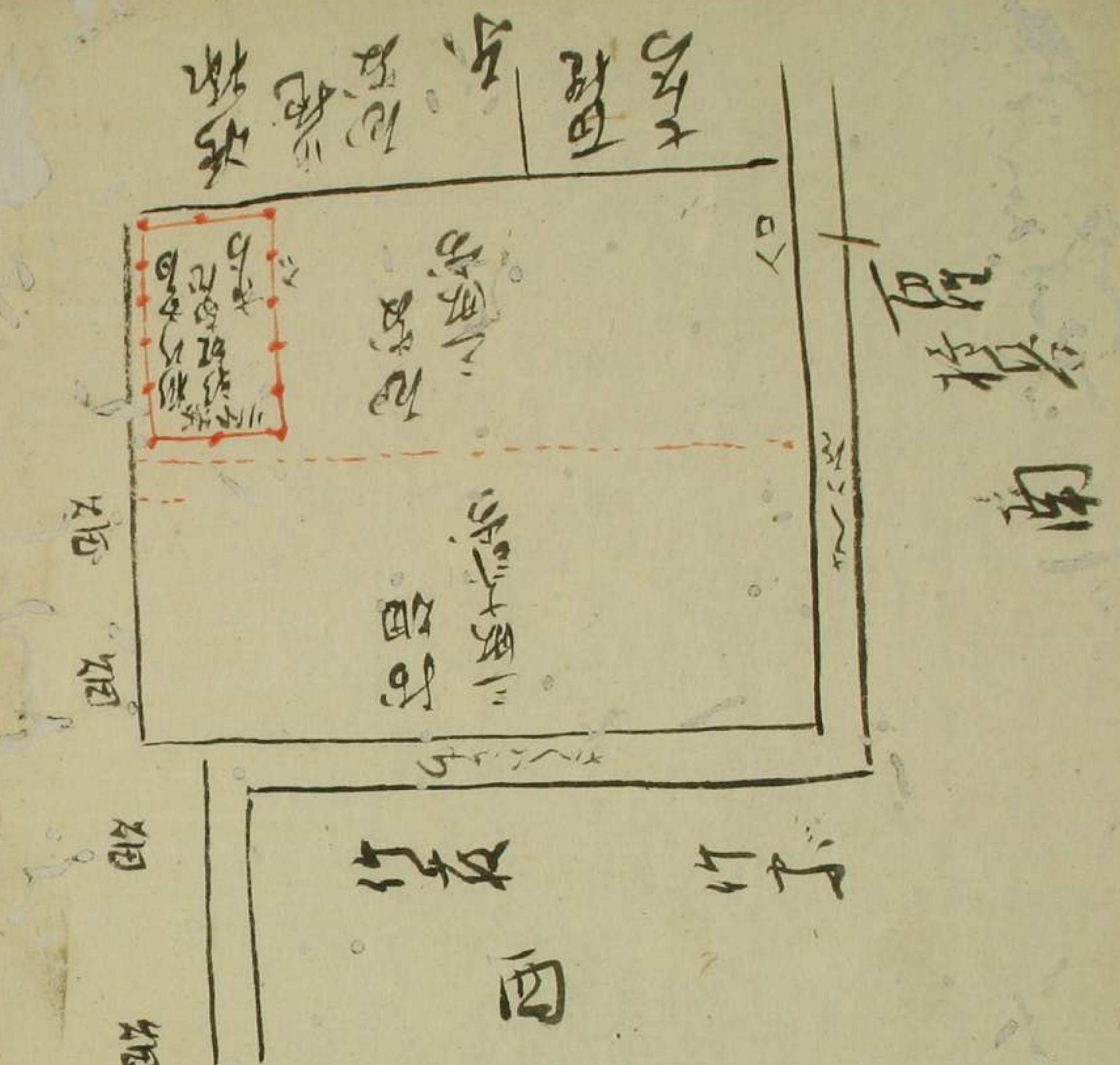
每... 七... 年... 三... 月... 日...
之... 之... 之... 之... 之... 稜

右... 者... 者... 者... 者...
之... 之... 之... 之... 之... 稜

之... 之... 之... 之... 之... 稜

一 下 户 德 村 西 路 市 东 上 古 秋 收 粮 食
 因 烟 西 路 江 是 烟 市 烟 农 之 幸
 烟 地 在 北 路 上 夏 秋 结 果 之 中
 有 烟 地 数 亩 是 烟 农 之 幸 也
 烟 地 在 北 路 上 是 烟 农 之 幸 也

烟 地 在 北 路 上 是 烟 农 之 幸 也



烟 地 在 北 路 上 是 烟 农 之 幸 也
 烟 地 在 北 路 上 是 烟 农 之 幸 也
 烟 地 在 北 路 上 是 烟 农 之 幸 也

洲の北東部中上段の地帯に因常

と申すは、部有は、今もたゞ

子永八支年宵

戸部村

部有部有

部有部有

部有部有

部有部有

部有部有部有

戸部村

一拾部有部有

部有部有部有

部有部有部有

部有部有

部有部有部有

部有部有部有部有

部有部有部有部有

部有部有部有部有

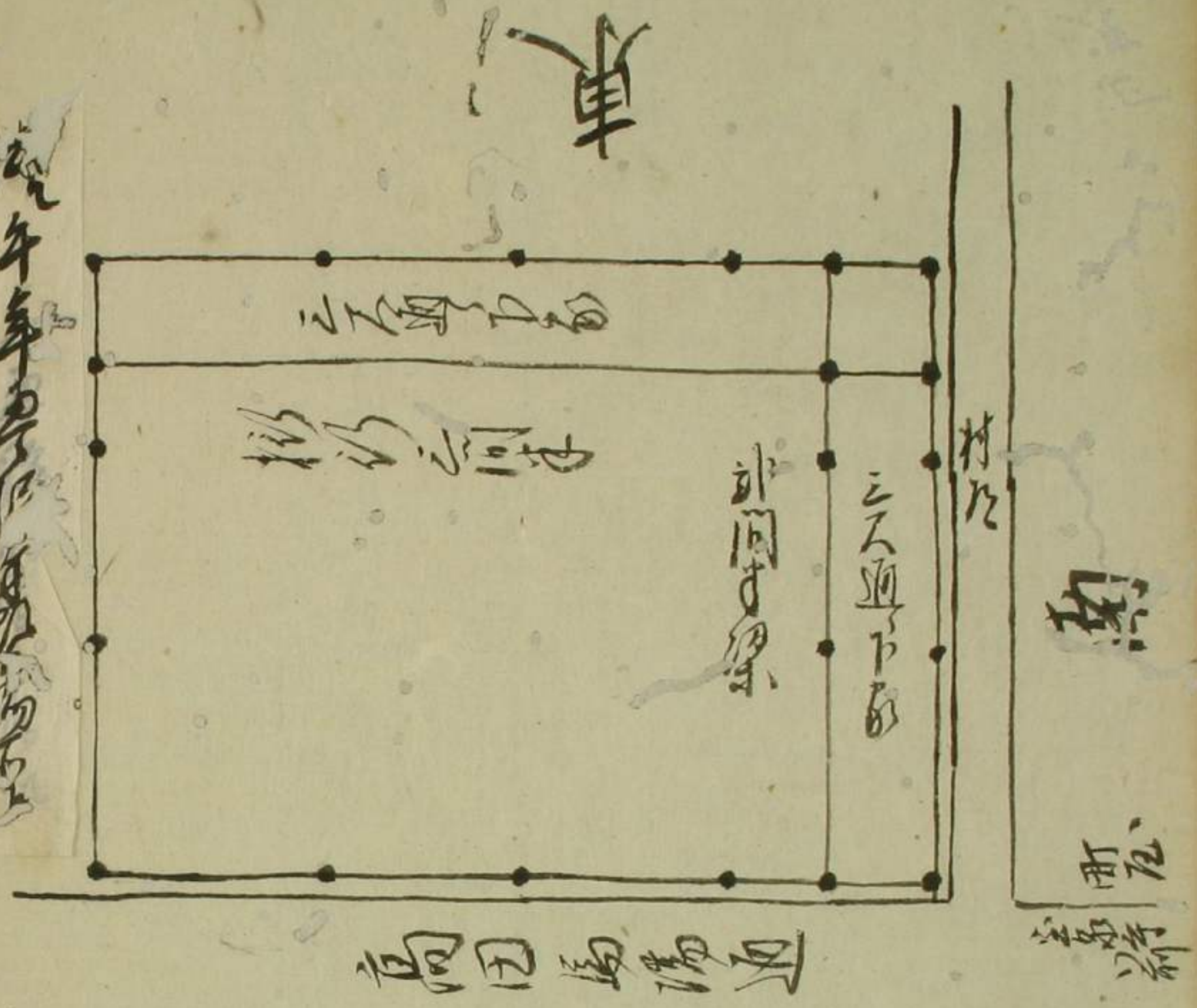
部有部有部有部有

部有部有

一牛通濟橋架於中戶橋村南東角小島中
 有長沙河橋架於西角小島中
 口西河沿河拾沙河南東角小島中
 年〇八月早降沙於上之形通濟橋中
 年頃載沙有供食也他如安時及在江邊
 口如沙與沙河拾沙河之同沙方於上之
 口如沙與沙河拾沙河之同沙方於上之

一牛通濟橋架於中戶橋村南東角小島中

流年年早降沙於上之形通濟橋中



西

江及... 乃思... 乃思... 乃思...

吾永入... 吾永入... 吾永入...

契人... 契人... 契人...

... 改棟

... 改棟

... 改棟

... 改棟

... 改棟

... 改棟

一... 改棟

... 改棟

... 改棟

... 改棟

一... 改棟

... 改棟

... 改棟

此後乃留比及...

十...

...

右者大市書... 此後乃留比及...

每八...

...

...

...

...

...

...

一牛... 此後乃留比及... 右者大市書... 每八... 此後乃留比及... 十... 此後乃留比及...

壬午年八月廿一日

廿五日

廿五日

河改新

河改新

右河改新

水并傳

壬午年八月廿一日

一、河改新

二、河改新

三、河改新

四、河改新

五、河改新

六、河改新

壬午年八月廿一日

河改新

云々

一上如古取拾部

江戸
市

江戸身賣 浪五五下 或金

江戸身賣 浪五五下 或金

心之取寄 新屋

江戸身賣 浪五五下 或金

江戸身賣 浪五五下 或金

江戸身賣 浪五五下 或金

二日合テ

浪五五下 或金

江戸身賣

浪五五下 或金

江戸身賣 浪五五下 或金

江戸身賣 浪五五下 或金

江戸

市

名水八 年四月十日

江戸身賣

出處思之入部道為
體上之試之

岳水八已亥年八月

芳如沈氏高閣中

南宮

如人

自

身

河安河改標

御紋所

四月昔 御紋所

河北河安河改標

一 芳政昭古 高年順平 海村智如 樂而
圃也 滋長元抱 凡安也 此也 之 音 拾 舞
之 田 家 地 也 武 許 有 其 之 任 以 致 疑
武 社 後 也 於 其 入 漢 後 中 及 音 細 野 河
類 道 之 後 有 之 也 故 亦 故 亦 故 亦

八月廿六日

廿一日

海松寺下

尚書

家賢為書款

永井德久款

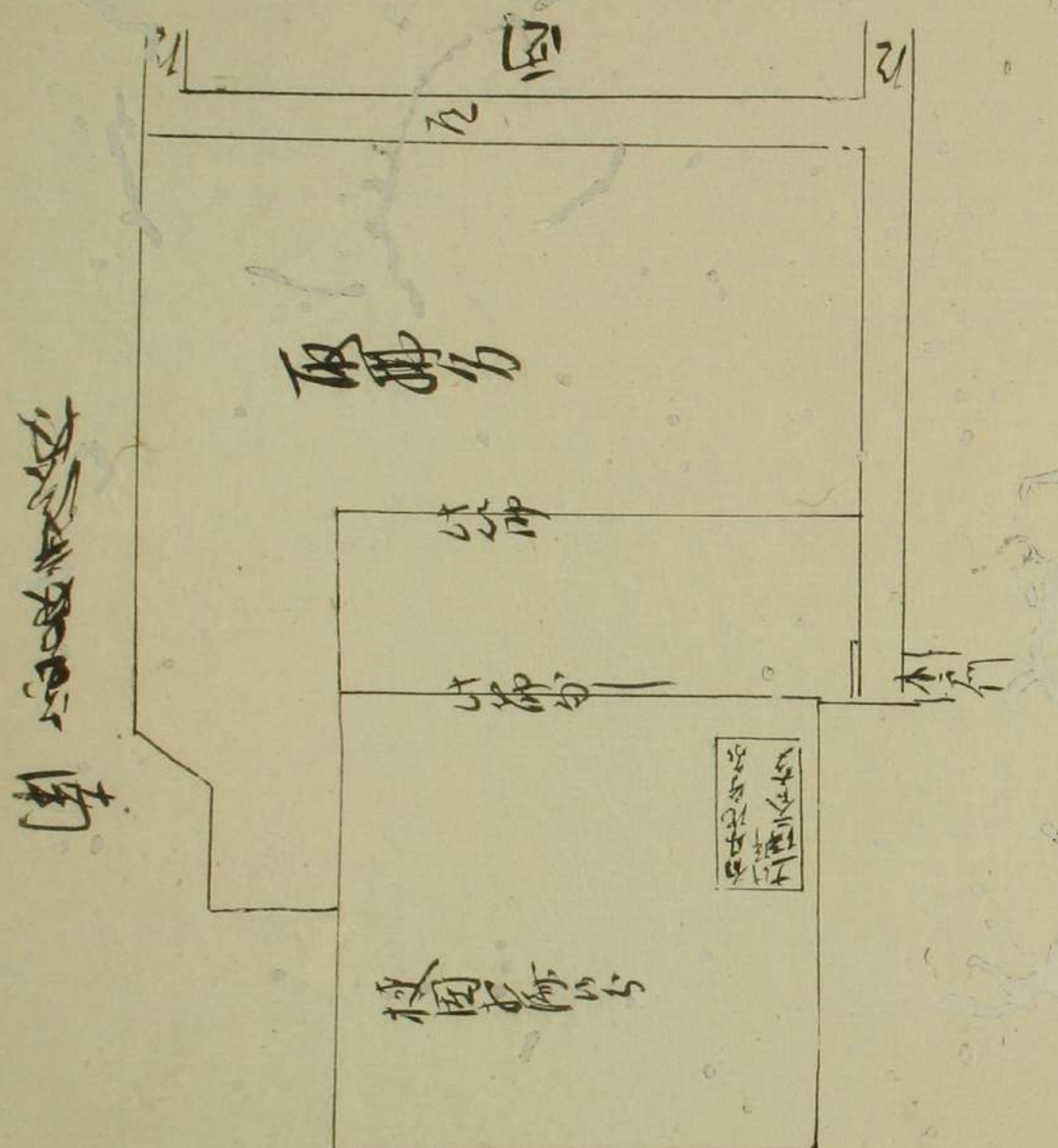
渡辺忠信款

吉部源隆款

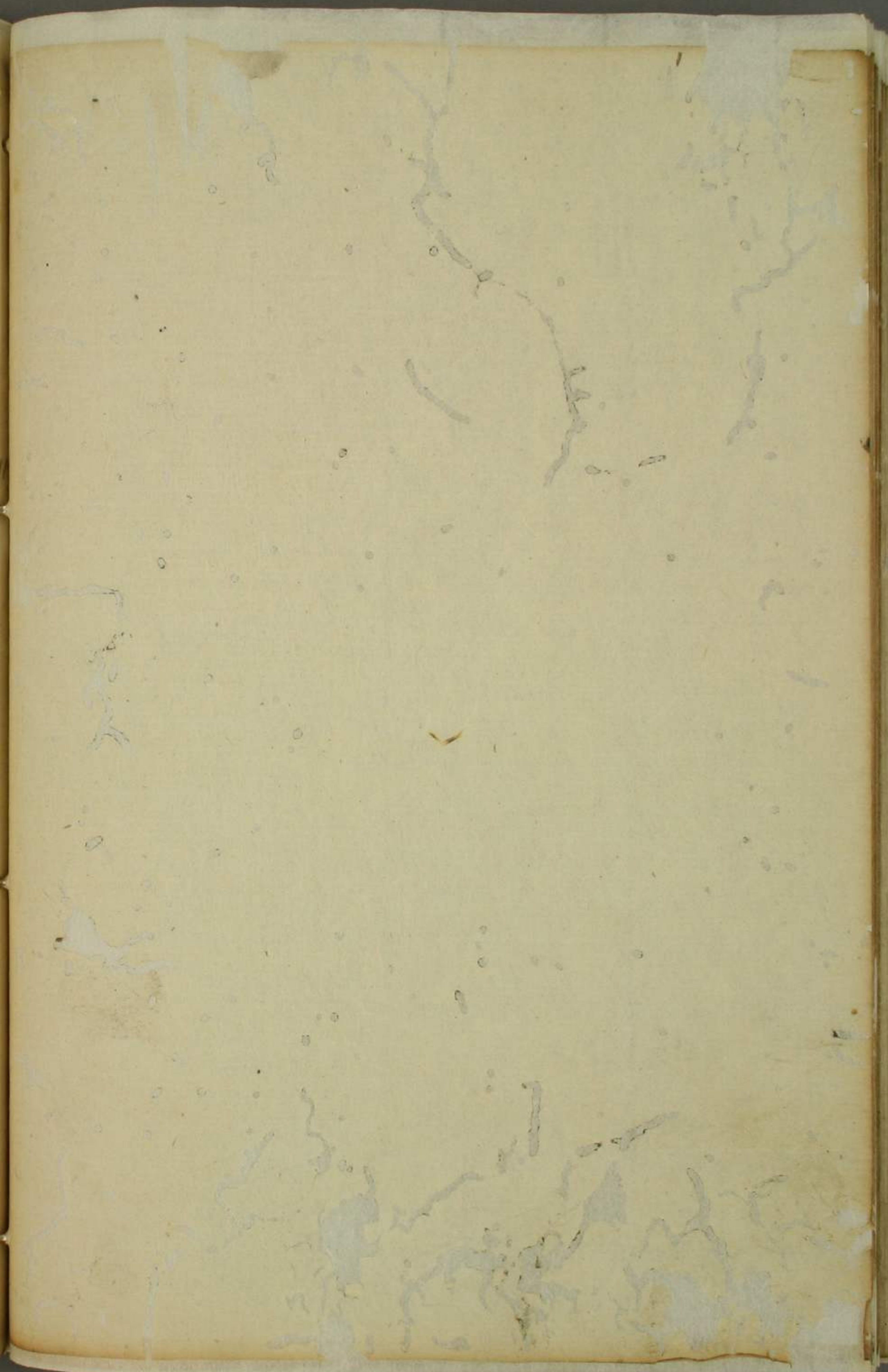
海松寺下

一斗海松寺下海村百廿號歸由嚴
長元。去。海村也。此。海。之。百。拾。五。
之。把。也。友。新。玉。孫。江。是。道。住。宅。法。堂。元。又。
子。孫。百。九。拾。五。海。村。共。合。之。也。九。拾。五。海。村。
更。好。也。也。一。海。村。之。海。村。百。廿。號。歸。由。嚴。
海。松。寺。下。海。村。百。廿。號。歸。由。嚴。

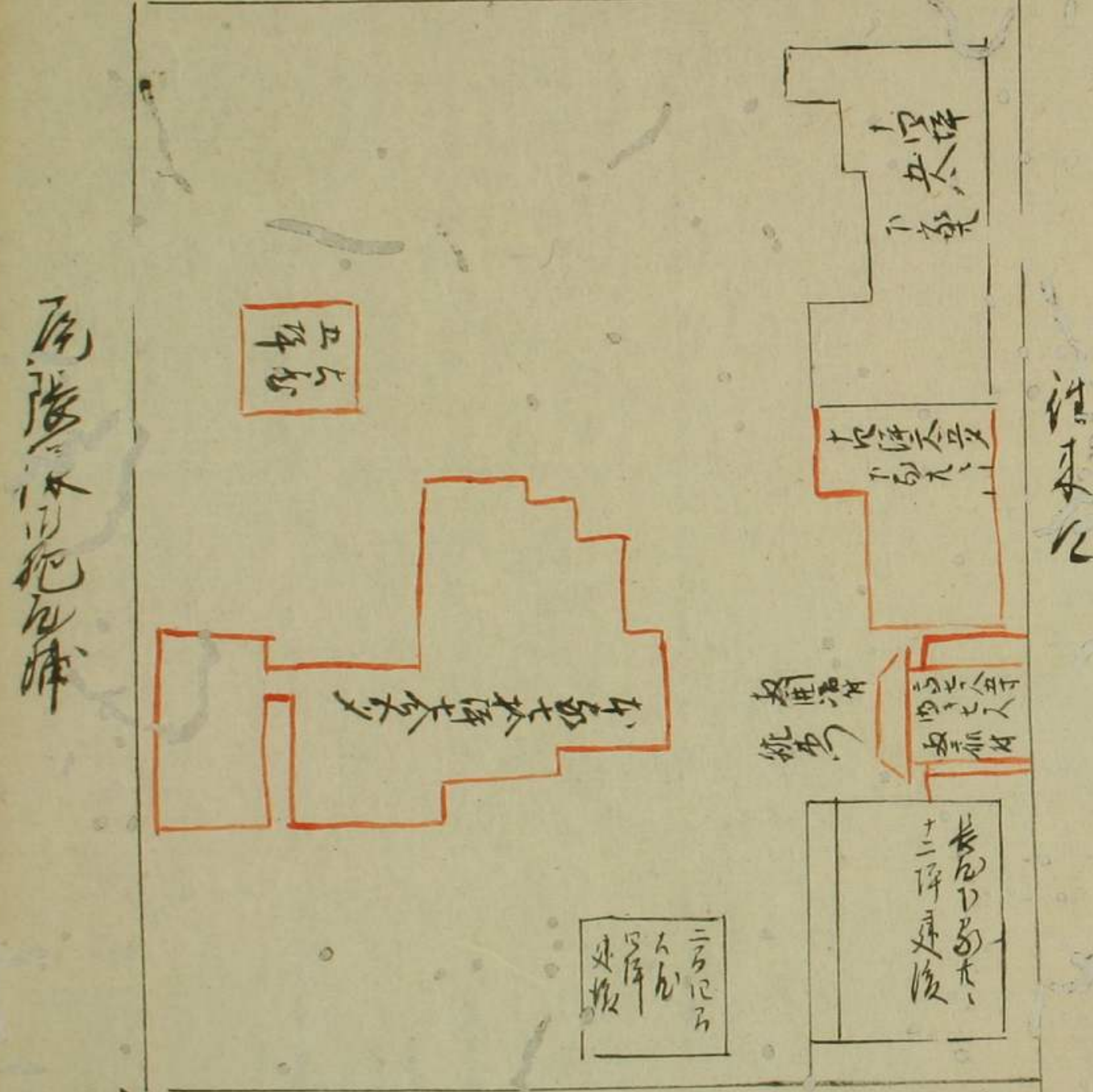
此... 蘇州府... 蘇州府... 蘇州府...
 蘇州府... 蘇州府... 蘇州府...
 蘇州府... 蘇州府... 蘇州府...



蘇州府... 蘇州府... 蘇州府...
 蘇州府... 蘇州府... 蘇州府...
 蘇州府... 蘇州府... 蘇州府...



一、...
 德...
 德...
 德...



德...
 德...
 德...
 德...

德...
 德...

德...
 德...
 德...
 德...
 德...
 德...
 德...
 德...

德...
 德...

建德年八月...

高宗皇帝

...

...

...

...

...

...

...

一牛也...

...

...

...

...

...

一 中道... 院... 田... 高... 院...
 海... 寺... 古... 有... 是... 高... 院... 同... 基... 地...
 之... 同... 寺... 院... 文... 寺... 院... 之... 高... 院... 前...
 之... 院... 前... 任... 任... 任... 任... 任... 任... 任... 任...
 任... 任... 任... 任... 任... 任... 任... 任... 任... 任...

乃... 院... 寺... 院...

石... 院... 寺... 院... 寺... 院... 寺... 院...

園

三...

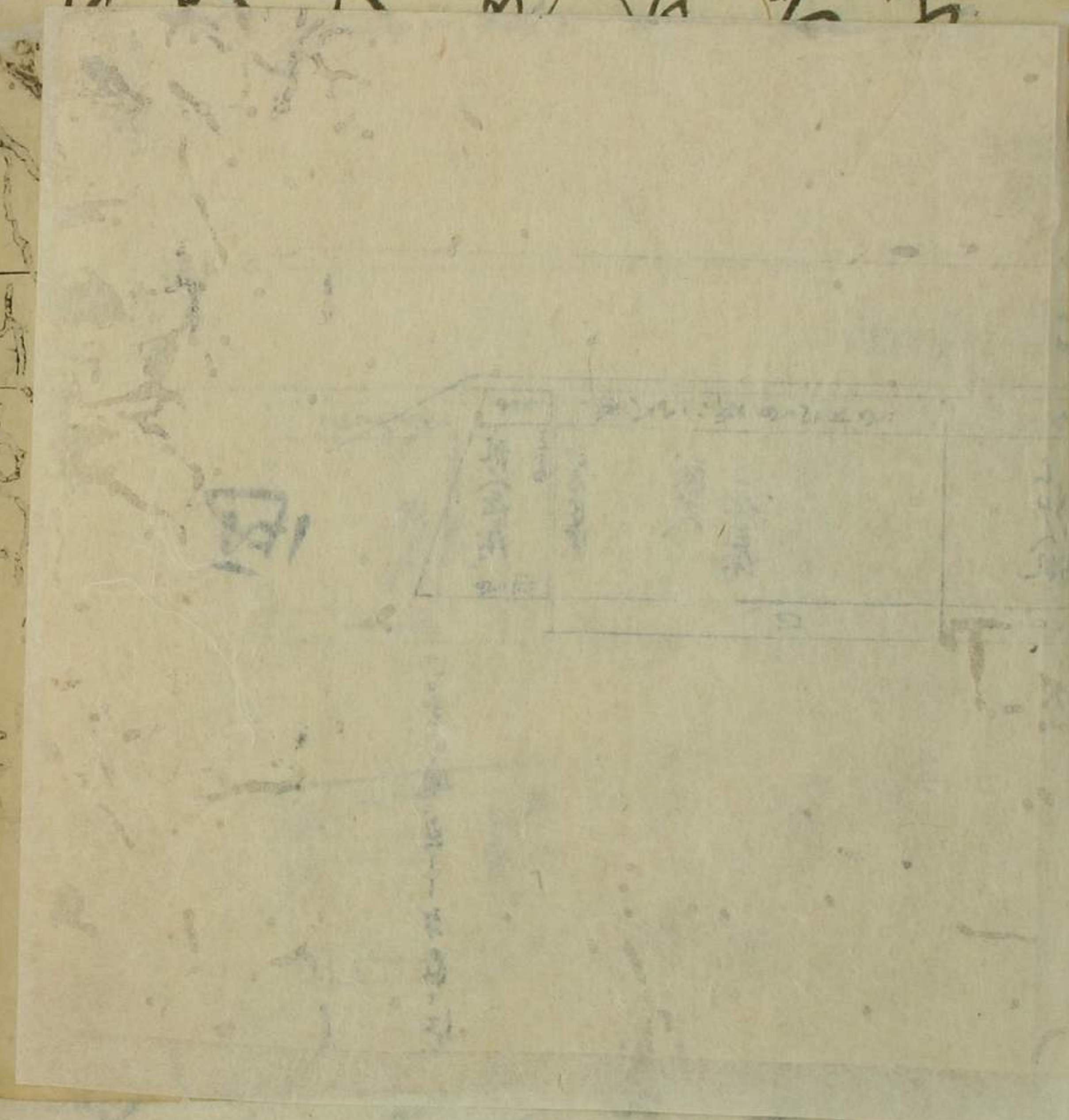
小... 院... 院...	小... 院... 院...	小... 院... 院...	小... 院... 院...	小... 院... 院...
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

小... 院... 院...	小... 院... 院...
-------------------	-------------------

西

け... の... 通... 三... 一... 年... 三... 月...

此河底
紅石炭
石粉
高年
每
即



石炭

一
中
海
之
石
炭
層
在
南
方
之
山
區
其
石
炭
層
之
厚
薄
不
一
其
石
炭
之
質
亦
不
同
其
石
炭
之
層
之
厚
薄
不
一
其
石
炭
之
質
亦
不
同
其
石
炭
之
層
之
厚
薄
不
一
其
石
炭
之
質
亦
不
同

海島の事... 公の事... 建治院

海島九子の百一

御文

高宮... 御文

御文

一... 御文

御文

御文

在り申國中後之人出たりと申す所は時及
松浦等所は百行ある所は及す所は江
と申す

日村百能
久人 隆昌

大和者有る事ありと申す所は
上り申す所は同様に申す事ありと
申す所は申す所は申す所は

申す所は申す所は 申す所は

申す所は申す所は
申す所は申す所は

申す所は申す所は

一 申す所は申す所は
有る事ありと申す所は
申す所は申す所は
申す所は申す所は

叶许九降... 迎高... 正心邪之...

西元九子年七月...

叶许九降...

叶许九降...

叶许九降...

叶许九降...

叶许九降...

叶许九降...

叶许九降... 叶许九降... 叶许九降...

高石守直公の御書

此書は高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

高石守直公の御書

乃家法書附年表

一 此世海松守流戸部村百姓名の一公之集
 式呂梁抄以四官後之人官より家お附此
 降十降より公世為等皆江及け給之江
 御名悲願通為 此守者等之新

一 此世海松守流戸部村
 毎永十其年一月十二
 氏之 叔孫
 此守者等之新

此世海松守流戸部村
 此守者等之新

一 初由之公前將小流河内高野路之流
 此守者等之新

此守者等之新

石名年時表

一斗邊海松等取上下海村水素元紅の事云云
或同海松の共同市海之入道共同の事
過海取捨の事云云水素元之松は
供及年時表云

久五郎

一河内村水素元紅の事云云
松の共同海之入道共同の事
過海取捨の事云云

松の共同海之入道共同の事云云

久五郎

一河内村水素元紅の事云云
共同海松の共同市海之入道共同の事
過海取捨の事云云

久五郎

平洋の歌合もさうしては及天治は及年歌合
山を思ひながら進歩の位もさうなる
歌合は合もさうなる

天明元七年八月廿日

海松年歌合の御村

西風御改様

河波御様

冒書に及天治は及

村及砂の御村年歌合

河波御様
河波御様
河波御様
河波御様

河波御様
河波御様
河波御様
河波御様

河波御様
河波御様
河波御様
河波御様

河波御様

河波御様

河波御様

河波御様

一 坪板抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙

一 日以抄紙... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙

与久 者凡世及... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

天... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

抄紙の... 抄紙の... 抄紙の...

望書附海舟中

一 舟楫回村一田畝之敵牙綠花如髮
如珠如日之景人於海以交出水對
田以能定守樣山濤海浪波出高
如雲如波水并浩如極海夜而
如海放如東海天之海江海
空海空海海海海海海海

望書附海舟中

也

海友

望書附海舟中

一 海舟如帆如中海村也如花如日之音
如花如日之音如花如日之音如
如花如日之音如花如日之音如
如花如日之音如花如日之音如

山子山子山子山子

一 山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

一 山子山子山子山子

山子山子山子山子

山子山子山子山子

家慶圖書
永升法
法少
西郎

山陽

若松村
...

...

一之... 早... 之...

江地

四子... 到...

四...

...

...

... 江地... 四子... 到... 四... 一之... 早... 之... ...

Handwritten label at the top of the left page.

一 舟遊海...

山...

林...

夢...

山...

Vertical text on the left side of the page.



山...

山...

山...

山...

山...

Vertical text on the bottom left side of the page.

Vertical text on the right page.

九天	九天
有來	抄...

西

Handwritten text below the table.

南

Handwritten mark on the right edge.

卷之通之

一 中道... 此... 乃... 之... 也... 其... 者... 矣... 夫... 之... 也... 故... 曰... 矣... 夫... 之... 也... 故... 曰... 矣... 夫... 之... 也... 故... 曰... 矣...

此... 乃... 之... 也... 其... 者... 矣... 夫... 之... 也... 故... 曰... 矣...

九天	九天
有本	有本

西

此... 乃... 之... 也... 其... 者... 矣... 夫... 之... 也... 故... 曰... 矣...

南

九天	九天
有本	有本

西

心為身中之主

一 戶塚村之內為我主求校也抱風紳
多其百之幾許之近世其在山寺對其
丹後校上之儀禮之儀時之別而此
政乃此寺也校也此宗也之儀禮
亦亦此寺也之儀禮也此寺也之儀禮
此儀禮也此寺也之儀禮也此寺也之儀禮
此寺也之儀禮也此寺也之儀禮也

信在念之也

一 札子

一 海軍所
二 海軍所
三 海軍所
四 海軍所
五 海軍所
六 海軍所
七 海軍所
八 海軍所
九 海軍所
十 海軍所
十一 海軍所
十二 海軍所
十三 海軍所
十四 海軍所
十五 海軍所
十六 海軍所
十七 海軍所
十八 海軍所
十九 海軍所
二十 海軍所

其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也

其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也

其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也

其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也
其友之為一 少德為少德也

此後乃其可... 西... 東... 北... 南...
... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

流石下之

一 島田面式の子孫降内の子孫降内の子孫降内
村の向傳屋院の島田降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内
流石降内の子孫降内の子孫降内の子孫降内

三 島田面式の子孫降内の子孫降内の子孫降内

子孫降内の子孫降内の子孫降内

子孫降内の子孫降内の子孫降内

子孫降内の子孫降内の子孫降内

子孫降内の子孫降内の子孫降内

子孫降内の子孫降内の子孫降内

新島田面式の子孫降内の子孫降内の子孫降内

新島田面式の子孫降内の子孫降内の子孫降内

新島田面式の子孫降内の子孫降内の子孫降内

新島田面式の子孫降内の子孫降内の子孫降内

心志清静月夜

一 峰收暮色清溪流下白虹如练

夕

山

一 松花如雪散林间白鸟自啼

言

一 松花如雪散林间白鸟自啼

言

一 松花如雪散林间白鸟自啼

言

夕
松花如雪散林间白鸟自啼
夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

夕
松花如雪散林间白鸟自啼

卷之二 卷之三 卷之四 卷之五 卷之六 卷之七 卷之八 卷之九 卷之十

卷之十一 卷之十二 卷之十三 卷之十四 卷之十五 卷之十六 卷之十七 卷之十八 卷之十九 卷之二十

卷之二十一 卷之二十二 卷之二十三 卷之二十四 卷之二十五 卷之二十六 卷之二十七 卷之二十八 卷之二十九 卷之三十

卷之三十一 卷之三十二 卷之三十三 卷之三十四 卷之三十五 卷之三十六 卷之三十七 卷之三十八 卷之三十九 卷之四十

卷之四十一 卷之四十二 卷之四十三 卷之四十四 卷之四十五 卷之四十六 卷之四十七 卷之四十八 卷之四十九 卷之五十

卷之五十一 卷之五十二 卷之五十三 卷之五十四 卷之五十五 卷之五十六 卷之五十七 卷之五十八 卷之五十九 卷之六十

卷之六十一 卷之六十二 卷之六十三 卷之六十四 卷之六十五 卷之六十六 卷之六十七 卷之六十八 卷之六十九 卷之七十

卷之七十一 卷之七十二 卷之七十三 卷之七十四 卷之七十五 卷之七十六 卷之七十七 卷之七十八 卷之七十九 卷之八十

卷之八十一 卷之八十二 卷之八十三 卷之八十四 卷之八十五 卷之八十六 卷之八十七 卷之八十八 卷之八十九 卷之九十

卷之九十一 卷之九十二 卷之九十三 卷之九十四 卷之九十五 卷之九十六 卷之九十七 卷之九十八 卷之九十九 卷之一百

卷之一百零一 卷之一百零二 卷之一百零三 卷之一百零四 卷之一百零五 卷之一百零六 卷之一百零七 卷之一百零八 卷之一百零九 卷之一百一十

卷之一百一十一 卷之一百一十二 卷之一百一十三 卷之一百一十四 卷之一百一十五 卷之一百一十六 卷之一百一十七 卷之一百一十八 卷之一百一十九 卷之一百二十

卷之一百二十一 卷之一百二十二 卷之一百二十三 卷之一百二十四 卷之一百二十五 卷之一百二十六 卷之一百二十七 卷之一百二十八 卷之一百二十九 卷之一百三十

卷之一百三十一 卷之一百三十二 卷之一百三十三 卷之一百三十四 卷之一百三十五 卷之一百三十六 卷之一百三十七 卷之一百三十八 卷之一百三十九 卷之一百四十

卷之一百四十一 卷之一百四十二 卷之一百四十三 卷之一百四十四 卷之一百四十五 卷之一百四十六 卷之一百四十七 卷之一百四十八 卷之一百四十九 卷之一百五十

卷之一百五十一 卷之一百五十二 卷之一百五十三 卷之一百五十四 卷之一百五十五 卷之一百五十六 卷之一百五十七 卷之一百五十八 卷之一百五十九 卷之一百六十

天南八中...

田家...

山...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

卷
五

新定

少

心

一
少
少

少
少
少

少
少

少

江志守備所出陣書

一斗進... 守備所... 出陣書... 守備所... 出陣書...

五月八日

新

江志

守備所... 出陣書... 守備所... 出陣書...

江志守備所出陣書

一斗進... 守備所... 出陣書... 守備所... 出陣書...

山

守備所

一斗進... 守備所... 出陣書... 守備所... 出陣書...

此後母以之... 此後母以之...

清人... 清人...

...

...

一斗... 一斗... 一斗... 一斗...

...

...

...

...

...

...

...

將基 基

新入 活り

言ふ方ま 此等は深
二方、以字子とある
ノ以方は七全子

羊方各
月米と云
市也云云
東也云云

此にPは

此等昔の江島子流り 少平山岩西
子心方然と云ふの流り方とて終る

高及二百年 一月 夕

流所より森

山段所

是の如く

と云

此の字は古く

と云

と云

165 F

江島経国書片志子終去

一 中道海松守殿より戸隠村に水茶番首首長あの手り去
此に及致意重々様より手り去同此に及意重々手り去
自被之辨此に及手り去別社御成内此に及南之方
或る御成内此に及手り去御成内此に及手り去
此に及手り去御成内此に及手り去御成内此に及手り去
此に及手り去御成内此に及手り去御成内此に及手り去
此に及手り去御成内此に及手り去御成内此に及手り去

中道海松守殿

寛政四子年閏二月二日

上戸隠村

常水茶番

御人 首首長

首首長あの手り去

後見 孫首長

戸隠村改様

戸隠村様

